

あなたは いま、
ほほえんでいますか



(社)日本グラフィックサービス工業会

相談役 岡田 康孝 氏

教育随想



月報
岡崎の教育

平成18年8月1日
8月号
発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
(社)日本グラフィックサービス工業会 相談役 岡田 康孝氏	
この人に聞く	2
プロトリアスリート 柴田 卓也氏	
羅針盤	2
六名小学校長 浅井 稔	
ふれあい	3
山 中 小 権田真砂子 城 北 中 近藤 由恵	
特集	4
先生パワーを社会に生かそう! ボランティアに参加する教員たち	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
入学テスト(昭和7年)	
この本を	8



あなたは いま、
ほほえんで
いますか

にっこりほほえむことは
別にお金のかかることではない
でも、人の心は幸せになる
ほほえみを受けた相手を豊かにしながら
ほほえむ本人は何も使わない
ほほえみは、一瞬のうちに消え去るが
記憶にはいつまでも残る
ほほえみは、家庭に平和をもたらし
仕事の支え、友情の印となる
疲れた人に休息を与え
失望している人を勇気づけ
悩める人を自然に癒す
ほほえみは貸すこと、借りること
盗むこともできない宝物

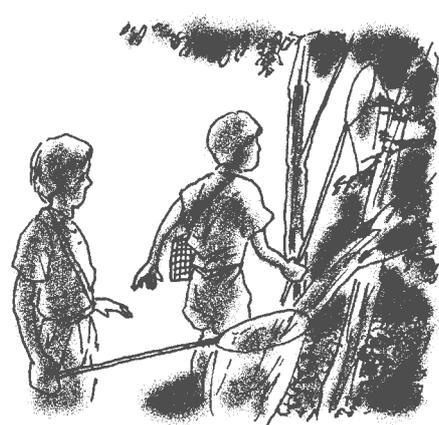
この詩は、私が好きな「ほほえみ」
(フェアベル作)という詩です。

子供に接するとき、笑顔は大切です。皆さんもご承知のとおり、紀子様も、稚子様も子供と同じ目線で優しくほほえんでお話しされています。笑顔は心の扉を開く魔法の鍵「笑顔は情報の発着源」とも言われています。

子供が失敗をしたとき、母親が、「夜叉」のような顔で目くじらを立てながら、「だからお母さんが言ったでしょ」という姿で接すると、幼い子供は、泣きじゃくるか、無言で抵抗することしかできません。

逆に、母親が心にゆとりを持ち、肩に手をかけ「菩薩」のような顔で、にっこりしながら、「お母さんも、子供のころ同じような失敗したのよ。これから気をつけようね」と言えば、子供は自然と心の扉を開きます。

笑顔は人間関係をよくする手段です。自分が不機嫌なときは、顔が突っ張っているから誰も話しかけません。



常にはほほえみをたたえ、明るく振舞う姿勢を身に付けたいものです。そのためには、人の良いところを見つめる習慣とすべての人を愛する「人間愛」「人類愛」に関する教育が必要ではないでしょうか。

最近の青少年の犯罪、幼児虐待等、命を軽視した悲しい問題を解く鍵も、ここにあるのではないのでしょうか。

「あなたは いま、ほほえんでいますか」
(おかだ やすたか)



アイアンマンへの道

プロトライアスリート

柴田 卓也 氏

「日本でプロは三十人ぐらいしかいません。今は個人で、プロとして競技に出場しています。」

長崎五島列島で開催されたアイアンマンジャパントライアスロンを終えられた柴田さんに、お話を伺った。

「五月から十月までに十レースぐらいこなします。次は、アメリカのレイクプラシッドへ行きます。」

柴田さんは、トライアスロンの中でも最も過酷なロングディスタンス（水泳二〜四キロ、自転車五十〜一八〇キロ、ラン十五〜四十二・二

キロ）という種目に挑み続けている。

「高校時代は陸上の長距離をやっていたんですが、けがのリハビリとして自転車を勧められたんです。それがおもしろくなって……。でも、十八歳までは、水泳で二十五メートルも泳げなかったんですよ。」

お話をされている間中、浅黒く日焼けした精悍な顔から、笑みが消えることはなかった。

高校卒業後、独学で本格的に練習を始められた。その後、大阪のプロ選手に弟子入り。練習量が増えるとともに、めきめきと頭角を現された。そして、五年後の平成七年にメキシコで開催された世界選手権に、日本代表として出場されるまでに至った。

「平成十年に、交通事故で右手の筋を三本断裂しました。後遺症があり、今も手首が十分に動きません。その年は大スランプだったので、このまま終わりたくはなかった。復活しよう、一から作り直そうという気持ちのほうが強かったですね。」

三回の手術とリハビリを重ね、翌



年の六月から本格的に練習を再開。そして、平成十二年の日本トライアスロン選手権では終盤に大逆転し、初の日本チャンピオンに輝いた。

「レース中に弱い自分が出てくるんです。その葛藤を乗り越えないと、どんどん悪い方向へ行ってしまう。目標を作るから楽しめるんです。自分の立てた目標をクリアできたときの喜びが、次への目標につながる。」

災いをプラスに変えていく柴田さんの生き方に、真のアイアンマンを見る思いがした。

「トライアスロンは、息の長い競技です。世界のトップは三十代から四十代。体力以上に、精神面や戦術面が強く影響する。将来はコーチになって、世界に通用する強い選手を育てたいと思っています。でも今は、トライアスロンの極限であるアイアンマンで日本一になり、ワールドチャンピオンシップへ出場したい。」

柴田さんの飽くなき挑戦は、これからも続く。

氏名 しばた たくや
生年月日 昭和四十七年十二月二十六日
住所 真伝町西反田十一―三



教育は水車

六名小学校長 浅井 稔

校長室から校庭の様子を眺めていると、子供の中に混じって遊び回る教師の姿を見付けた。微笑ましい光景である。

指導を要する教員や教員の資質の向上等が、現在大きな教育問題となっているが、この種の問題は今始まったことではない。今までも問題のある教員はいた。ただ世間からあまり問題視されていなかっただけのことである。今一度、教育とは何か、教師の仕事とは何かを振り返り、自分が教師を目指したころの心を思い出したいものである。

新任のころのある指導主事の話が今でも心に残っている。それが私の教育の出発点でもあった。

教育を水車に例えた話である。水が子供たちで、水車が教師、水車の回転（力の大きさ）が教育である。

また あした

山中小 権田真砂子

「またあしたね。」

日が傾き、運動場に部活下校で集まった子供たち。その中でA男は、わたしの顔を見つめ、にこっと笑ってこのあいさつをする。同じ通学班ごとに並んで帰る列の中から見えなくなるまで手を振る。出張があつて帰りのあいさつができないと

「ごんだ先生、さよならができないくてさみしかったねえ。きょうはちゃんという？」

「いますよ。きょうはさよならできませんよ。」

「よかったねえ。」

昨年から受け持っている特殊学級。それぞれの子供たちの障害の違いから、一人一人への対応の難しさに振り回されているわたしにA男は、「ごんだ先生、ありがとうねえ。Aくんだのしかったよ。またやりましたよ。」



いねえ。」
いつも優しく声をかけてくれた。

A男の優しさから、わたしの方がどれだけ多くのことを学ぶことができたか。いつも笑顔でいること。またあしたががんばろうと前向きに生きることの大切さを、A男は呼びかけている。A男の心の泉にはなんという透明な水があふれているのだろうか。いつもわたしの心は洗われている。



一期一会

城北中 近藤 由恵

陸上部の顧問になり四年目になる。陸上とは無縁だったわたしは、今陸上に夢中になっているのは、A子との出会いがあったからだ。

A子は、能力はあるが練習をまじめにやらず、廊下ですれ違っても目も合わさずとしない子だった。A子の能力を期待するあまり、練習内容を強化し、練習態度も改めるように



何度も話をした。しかし、A子が心を開くことはなかった。厳しすぎる一方的な指導が、A子に大きな負担となっていたのかもしれない。

自分一人ではどうしようもできない。わたしとA子、学級担任とで急遽話し合いの場を持つことにした。A子とともに泣きながら話し合い、県大会に出場するという目標を二人で立てた。

その日以来、真つ先にグラウンドに出て、A子を待つことにした。また、A子も納得するまで運動場に残り練習する日が続いた。そして、二人の目標であった県大会に出場することができたのだ。

「わたしは、近藤先生でなければこゝまでは頑張れませんでした。」

最後の市長杯を終え、A子が言ってくれた言葉である。これまで悩んでいたことが嘘のように、その一言で救われた気がした。A子に出会えたことを感謝している。

自分の水車を水の流れのどの深さに入れるかによって、水車の回転する速さは違ってくる。水車は水の中に入れなければ回転はしない。反対に、水の中に入れ過ぎてても回転はしない。水車がよく回転する深さを見つけることが大切なことである。

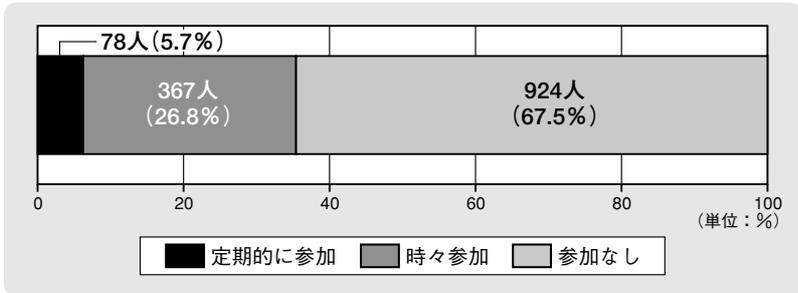
教育をするために自分を子供たちのどの位置に置くか、人によってその位置の違いはある。教師一人一人の力量の差で位置の違いが出てくるのは当然のことである。よく人の真似をして失敗する人がいるが、それは自分の水車の位置だけではなく大きさも分かっていないからである。水車の大きさが違うのに同じ位置において指導すれば水車は回転しない。教師には力量の差がある。小さな水車は動いても、大した力にはならない。小さな水車のままで満足せず、大きな水車になる努力をしたいものである。自分の技能の向上、心の向上を図ることに努めたい。そして、大きな水車となり、力のある教育をしたいものである。

教育は経験がものを言うが、経験の上であぐらをかいてはいけなない。自分の水車の大きさは他の教師に比べてどうかを常に省みて、日々研鑽に努めたいものである。

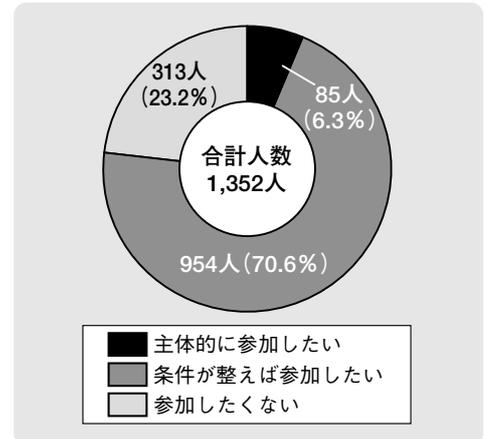


▲ 理科部「親子元気村」での実験の様子

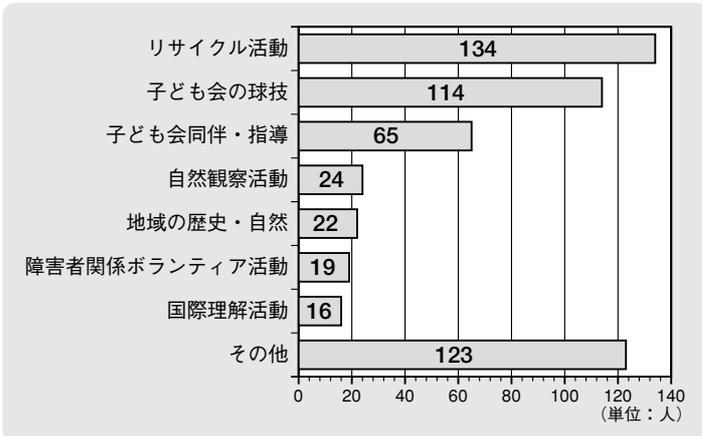
ボランティア活動への参加状況



ボランティア活動への参加希望



教員が参加しているボランティアの種類



平成十八年二月
学校週五日制研究委員会調査より



◀ すぶちネイチャークラブの様子



▲ すぐちワイルドキャンプ (ORLC主催)



▲ 乙川に親しむ会 (岡崎市水泳協会主催)

他にも、音楽部のジュニアコーラス「ジョリフィュー」の指導をはじめとする活動や、体育部の「JAC(ジュニアアスリートクラブ)」、学習情報部の「子供ビデオ教室」など、様々な取組がなされている。これらの活動が、今後の教員ボランティア活動の起爆剤になることが期待される。

また、岡崎市水泳協会主催の「乙川に親しむ会」などで、一般の方と一緒に、個人での活動を進めている先生方もみえ、献身的な活動から学ぶべきことが多い。私たち教員が必要とする資質である「奉仕の心」。これからの時代を担う児童・生徒の模範となれるよう、ボランティア活動に率先して参加していくことが、教員としてだけでなく、人間として成長することにもつながるのではないだろうか。

昨年度、岡崎市内の教員を対象にしたアンケートの結果がある。ここから、教員のボランティアに対する意識はたいへん高いものの、まだまだボランティア活動に参加している教員数は少ないことが分かる。

授業の準備や部活動指導で、時間的なゆとりがない中でも、およそ三十パーセントの教員は、何らかの形で活動に参加している。参加している内容は資源回収のリサイクル活動、子ども会の球技指導など自分の子供にかかわる活動が大多数を占めており、教員も保護者として社会教育活動に参加していることが分かる。

一方、現職研修部会の活動の一環として、積極的にボランティア活動に取り組んでいる部会もある。理科部では平成十五年度より、理科ボランティア活動を行っており、昨年度行われた愛・地球博にもブースを出すなど、積極的に活動している。

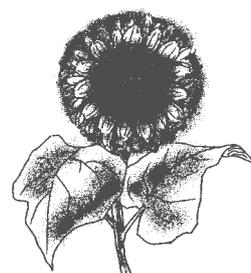


▲ 音楽部 ジュニアコーラス「ジョリフィュー」の指導



▲ 学習情報部 子供ビデオ教室

お知らせ



● 教育最新情報

○ 読書活動の推進

本年度は、「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」の最終年（五年目）を迎える。本市においては、児童・生徒が自主的に読書活動を行うことができるよう、四つの基本的方向に従って次のように実践している。

① 家庭・地域・学校を通じた、子供が読書に親しむ機会の提供

② 図書資料の整備などの諸条件の整備・充実

③ 学校・図書館・民間団体等が連携した取組の推進

① 子供が読書に親しむ機会の提供

全小中学校では、読書の時間を設定して、子供たちにみ

ずみずしい感性や情操、思いやりの心を育くむことをめざしている。

また、地域・保護者とも連携をした読み聞かせボランティア活動を推進し、年々その活動が広がりをを見せている。

また、地域・保護者とも連携をした読み聞かせボランティア活動を推進し、年々その活動が広がりをを見せている。

② 学校図書館の環境整備

③ 民間団体との連携の推進

④ 社会的機運醸成のための普及・啓発

また、本年度、司書教諭を、五十七校（平成十七年度は五十七校）に配置し、十二学級以上の学校にはすべて配置している。

● ハートピアだより

○ 「心臓がドキドキしちゃった」

中三のA君は、一年余りの通所になる。体格の良い子で、先輩から嫌なことを言われたのが不登校の原因の一つと考えられている。水まきが大好きで、ハートピア所内の草花、野菜の水かけを二つ返事でやってくれた。しかし、一人で過ごしていることが多く、午後の集団スポーツなどは短時間だけしぶしぶ参加している状態であった。

学校の行事にはできるだけ参加するように指導していた。前日までは意欲を示しているのだが、当日の朝になると体が動かなくなり、涙が出てきてしまうことが多かった。

修学旅行こそは、A君に参加してほしいという担任の並々ならぬ熱意から、班編成も細かい配慮がなされていた。しかし、さんざん迷ったあげく、結局参加できなかった。

将来、自動車整備士を目指しているA君に、以前ハートピアで使っていた、ゴーカ-

トを見せたところ、「分解してもいいですか」と即座に言い、工作室で工具を探し、足りないものについては、自分で持ってくるような意欲を示した。

それ以後は、黙々と取り組み、興味のある男子を集め、リーダーとしてみんなに指示をしていた。

スタートのひもを勢いよく引っ張ると、バババーンとエンジンがうなり始めた。「心臓がドキドキしちゃった」と、興奮している中にすばらしい笑顔のA君が確認できた。

数日後、「先生、おれ、週一回学校へ行きます」と言う、今まではちよつと違つた、たくましいA君がそこにいた。



●表 彰

◆第三回小中学校囲碁団体戦
愛知県大会 小学校の部団体

優勝 羽根小学校

(四年生一名・六年生一名)

◆平成十八年度「フワフワ
ボーコンクール」(春花壇)

東海ラジオ放送賞(花壇の部)

上地小学校

◆第十一回愛知県ジュニア・

ゲートボール大会

優勝 竜谷小三名と東海中三

名の合同チーム

◆第一回愛知県少年少女空手

道選手権大会

優勝 常磐南小四年 柴田苑佳

●海外四都市交流事業

「岡崎市中学生(姉妹都市・友好都市・国際都市)交流事業」として、本年度は、昨年度まで額田町が、平成元年度から交流活動を行っているクアラルンプール市(マレーシア)との交流を実施するとともに、ニューポートビーチ市派遣生徒を四名から七名に増やすなどの特徴が見られる。本年度の派遣は、次のとおりである。

訪問市	役	校名	名前
姉妹都市 ニューポートビーチ市 (アメリカ) 10/2(月)~10/11(水) (昭和55年~)	団長	市教委 学校指導課指導主事	小川 規博
	副団長	美合小学校 教諭	中立 香
	団員	甲山中学校 3年	村田 七華
	団員	美川中学校 3年	柴田 淳平
	団員	南中学校 3年	八田 康裕
	団員	城北中学校 3年	橋口 円香
	団員	竜南中学校 3年	森下 元貴
友好都市 呼和浩特 (中国) 9/4(月)~9/12(火) (昭和63年~)	団長	六ツ美北中学校 校長	鈴木 育男
	副団長	大門小学校 教諭	小田 喜代美
	団員	南中学校 3年	金児 麻美
	団員	竜海中学校 3年	内田 真未
	団員	葵中学校 3年	松原 央幸
	団員	福岡中学校 3年	今岡 大地
	団員	岩津中学校 3年	松浦 圭祐
姉妹都市 ウッデバラ市 (スウェーデン) 8/21(月)~8/30(水) (平成16年より25年ぶりの再開)	団長	葵中学校 校長	長坂 正延
	副団長	六ツ美南小学校 教諭	山田 真寿美
	団員	東海中学校 3年	森下 真衣
	団員	河合中学校 3年	長屋 尚太
	団員	常磐中学校 3年	鈴木 美佳
	団員	六ツ美中学校 3年	蜂須賀 久晴
	団員	矢作北中学校 3年	岩月 康輝
国際都市 クアラルンプール市 (マレーシア) 8/16(水)~8/23(水) (平成元年より旧額田町で交流。 平成20年まで実施予定)	副団長	額田中学校 教諭	池田 和博
	副団長	額田中学校 教諭	平木 順子
	団員	額田中学校 3年	齋藤 彩
	団員	額田中学校 3年	星野 真希
	団員	額田中学校 3年	大海 敦
	団員	額田中学校 3年	加藤 泰章
	団員	額田中学校 3年	小林 隆二
	団員	額田中学校 3年	藤井 一哉
	団員	額田中学校 3年	三浦 万依
	団員	額田中学校 3年	永谷 友可朱
	団員	額田中学校 3年	矢田 千尋
団員	額田中学校 3年	山内 沙織	



▲市長とともに~四都市親善訪問使節団合同結団式~

◆平成18年度教科・領域基礎研修会一覧

月日	教科・領域	会場	開講式 閉講式
7/27	特別活動	岡崎市市家	7/27 8:30
7/29	(野外活動)	少年自然の家	7/29 15:00
8/2	学校図書館	ぬかた会館 2階会議室	9:00 12:00
8/2	国語(書写)	消防本部 3階講堂	8:45 12:00
8/2	理科	六名小学校	9:00 12:00
8/2	生活	南部市民センター 3階体育集会室	9:00 12:00
8/2	家庭科(小学校)	教育研究所 205	8:30 12:00
8/2	社会	岡崎市美術博物館 セミナー室	9:00 16:30
8/2	算数・数学	羽根小学校	8:45 16:30
8/2	総合的な学習	南部市民センター分館 2階集会室	9:15 12:20
8/2	英語	六ツ美市民センター 2階体育集会室	9:00 15:30
8/2	学習情報	六ツ美北中学校	9:00 16:30
8/4	学校保健	愛知県青年の家 第1研修室	9:30 15:30
8/4	音楽	岡崎市民会館 リハーサル1号	9:00 12:00
8/4	中学校(技術・家庭分野)	南部市民センター 2階集会室	9:00 12:00
8/4	特別支援教育	教育研究所 301~305	8:30 15:30
8/4	図工・美術	岡崎市美術博物館 セミナー室	9:00 15:30
8/4	保健体育	広幡小学校	8:45 12:00

◆第50回岡崎市中学校総合体育大会の記録(水泳の部)

種目	男子				女子			
	氏名	学校名	記録	備考	氏名	学校名	記録	備考
50m自由形	大久保宅登	矢作北	27"07		上村 愛理	城北	29"66	
100m自由形	田端倫太郎	矢作北	58"65		天野 理慧	矢作北	1'04"10	
200m自由形	野沢 匠	矢作北	2'12"98		都築 温実	葵	2'20"14	
50m背泳ぎ	石井蒼一郎	葵	31"90		石川 佳奈	竜南	35"11	
100m背泳ぎ	西尾 次郎	城北	1'09"86		中嶋 友美	矢作北	1'13"71	
50m平泳ぎ	堀川 貴史	矢作北	34"52		川波 恵子	竜海	38"84	
100m平泳ぎ	谷 隆太	矢作北	1'11"17	新	大山 有	葵	1'21"91	
50mバタフライ	加藤 隆一	葵	30"78		森 菜見子	矢作北	33"77	
100mバタフライ	森田 和洋	竜海	1'03"20		山本紗佑里	矢作北	1'14"22	
200m個人メドレーリレー	石井 一気	矢作北	2'25"66		中根 知子	東海	2'43"81	
400mメドレーリレー	石井・谷内藤・田端	矢作北	4'22"54	新	中嶋・岩間山本・天野	矢作北	4'56"55	
400mリレー	大久保・谷田端・堀川	矢作北	3'57"55		野沢・中嶋岩間・天野	矢作北	4'29"33	

*表中の数字(3'56"33)は、3分56秒33を表す。

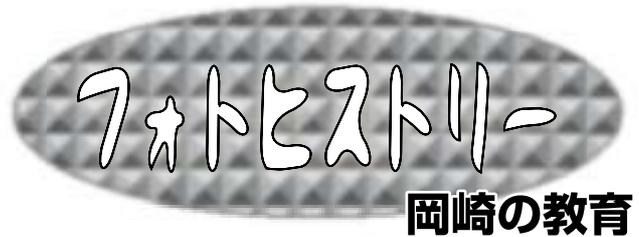
・カ
ツ
ト
井田小
川村 たくみ

入学テスト

(昭和7年)

写真提供：矢作西小学校

本校は大正十三年、宇頭の地に矢作第一尋常小学校として設立された。当時の玄関と校長室が「江西館」として今も残されている。その中には、教育資料や民具などが保管されている。写真は、添え書きによると「理科室で行われた入学テスト」の風景とのことであり、今の知能検査に相当するものではないかと思われる。子供や大人の髪型・服装などからその時代の様子がしのばれる。また、校長先生が部屋の真ん中で、付き添いの母親の後ろからテストの様子を観察している。入学前の張り詰めた雰囲気は、今も昔も変わらない。



精霊棚にキュウリの馬とナスの牛。門口で焚く迎え火・送り火。軒先の盆提灯に、親戚一同の顔を照らす回転灯。家族形態や生活様式の変化とともに、消えつつある和の習俗。祖霊をもてなし、生者の健在を祝す心は、これから後も、大切に伝え育んでいきたいものである。

シ オ ス ア

水源保全機能を持つ森林の大切な役割が計画されている。森林は額田地域に広がっており、新しく目を向けていくべき分野である。森林整備体験講習会などが開催予定されており、小中学生が直接参加する機会を持つことが、期待される。

オールが水しぶきを跳ね上げる。乙川に親しむ会では、子供たちの笑顔が水しぶきにも負けない輝きを放っていた。時間を作り出すのはとても難しいが、ポランテアに率先して取り組む子供を育てるために、私たちも努力し自分の力を社会に生かせればと思う。

汗を輝かせながら、グラウンドを駆け巡る子供たち。その流した汗の分だけ力を蓄えて成長することができる。多くの時間を部活動に費やすことができる。苦しいときこそ人は成長できる。この夏も、厳しい暑さと苦しい練習に耐えて大きく成長することを期待している。



- * ジーコスタイル 中小路 徹 ￥1500
朝日新聞社
- * 「死」を子どもに教える 宇都宮直子 ￥720
中央公論社
- * 褒めて、導く 丸山 護 ￥1500
青春出版社
- * 百歳まで歩く 田中 尚喜 ￥952
幻冬舎

* 愚直に実行せよ！ 中谷 巖 ￥800
PHP研究所

副題に「人と組織を動かすリーダー論」と付いている。明治初期から現在に至るまでの、企業をはじめとする日本を牽引してきた人物が、多くの事例を踏まえて書かれてあり、実行力の大切さを改めて痛感させられた。

リーダーという言葉に「教師」という言葉に置き換えて読むと、じっくりくる文章が多く見られ、児童・生徒をどのように導くか参考になる書物であった。